

## 令和4年度子どもの居場所づくり事業補助金補助対象団体ヒアリング結果まとめ

団 体	意見・要望
A	他市でも同様の事業を行っているが、小金井市のような補助金は他市にはないので、補助金をいただけるだけでありがたい。
B	毎週実施するのが理想である。また、補助金については現行の1回当たり10,000円×月2回分上限から1回当たり5,000円×月4回分上限に変更した方が利用しやすい。 学習支援の居場所で10名以上の参加というのはハードルが高い。
C	今回は補助金の流れを知りたくて、実際に申請してみた。まだ、補助対象事業を始めたばかりであり、実際に実績報告を出していないので、現時点では補助対象事業に対する申請手続きや事業実施に係る意見や要望はなし。
D	今回の補助金を前提として事業を検討したため、1回当たり10,000円×月2回上限が1回当たり5,000円×月4回上限に変更されると運営が厳しい。現在は場所代が補助金の半分を占め、市内でいろいろな物件を見て回ったが、どこでもこのくらいの金額は固定費としてかかってしまう。
E	子どもの居場所づくり事業を実施している団体の横のつながりが大事だと考えており、連絡会のようなものは年1回開催ではなく、複数回開催するのが望ましい。子ども食堂、学習支援の居場所、自由な居場所ごとの連絡会の開催も必要。子どもの居場所一覧のようなものは必要。理想を言えば、地図に落とし込み、開催情報が分かるとよい。
F	近所だと知り合いに会うから嫌だという理由で他市から参加している子どもがおり、逆のケース（小金井市民が隣接市以外で開催されている子どもの居場所を利用するケース）もあるかもしれない。 いろいろな会議の場に呼ばれる機会が多いので、子どもの居場所に係る連絡会は年1回で構わない。
G	公共施設を利用しているため、抽選の結果、公共施設を確保できた日時で開催している。子どもの居場所づくり事業補助金の1回当たり10,000円×2回分上限から1回当たり5,000円×4回分上限への変更については、現状のままを希望する。仮に回数が月4回上限に増えても、実施するだけのマンパワーがないし、場所の確保も難しい。